

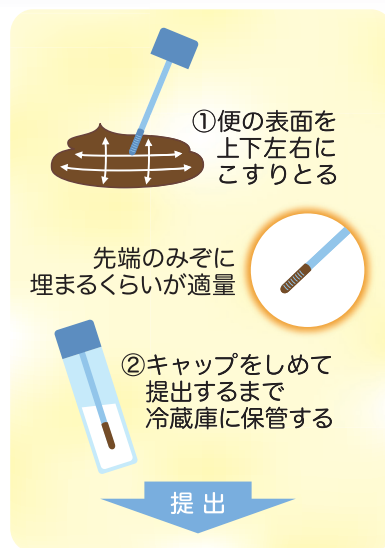
≡ 今月のテーマ ≡

便潜血検査

健康診断で「便潜血陽性(+)」になった事はありませんか？

便潜血検査とは便に血液が含まれているかどうかを判断する検査です。2日分の便をスティックで採取する簡易的で広く普及している方法で、健康診断の際、大腸がん検診として実施されます。がんやポリープなどの大腸疾患があると大腸内に出血することがあり、便潜血検査では目に見えない極微量の血液をも検出します。

「2回目は陰性だったし大丈夫」とか「あの時は便が硬かったからお尻が切れたかな?」とか自分の都合の良い様に解釈して放置していませんか?もちろん痔の可能性もありますが、「便潜血陽性」=「がんの疑いあり」のメッセージなのです。



Q & A

Q. 何故2日分採らなくてはならないのですか？

A. 採便1回あたりのがんの発見率は45%とされています。2回分の採便で70%にまで上がります。3回以上になると発見率は更に上昇しますが、被験者の負担も考慮され現在は2回法が推奨されています。

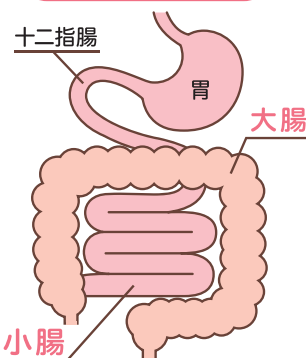
Q. 何故採便時には、便の表面をこすり取るのですか？

A. 便が大腸を通過する時大腸にがんやポリープなどの疾患があると、その表面をこすり血液が付着します。そのため数カ所の表面をまんべんなくこすり取る必要があります。

Q. 調理業務従事者がする検便とは何が違うのですか？

A. 調理業務従事者の行う検便はサルモネラ・赤痢・腸チフス・パラチフス・腸管出血性大腸菌O157などの食中毒菌に感染しているかどうかを調べる保菌検査です。潜血の有無は測定されません。

消化器の構造



大腸がんは早期であれば90%以上が治癒*する
(出典:国立がん研究センター)という事をご存じですか？

*ここで言う「治癒」とは、診察時からの5年生存率です。

がんの死亡数が多い部位(2019)					
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房

がんの罹患数が多い部位(2017)					
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	胃	大腸	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

出典：国立がん研究センターHP

女性では罹患数では乳がんが第一位なのに死亡数は大腸がんの方が高くなっています。

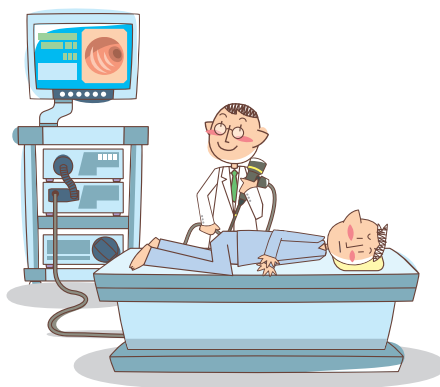
健診で「要精密検査(がんの疑い)」になっても再検査に行かない人の割合は胃がん・肺がんが20%弱に対し、大腸がんは30%になると言う結果があります(出典：国立がん研究センター)。これは大腸がんに出出した特徴的な結果です。

その理由の多くは「痔のせい」や「生理のせいかもしれない」など自分の都合の良いように解釈して、大腸内視鏡検査を受けない傾向が強いからと言われています。そこで国立がん研究センターでは大腸がん精密検査勧奨リーフレットを作成し、「要精密検査」という結果が出たら大腸内視鏡検査を受けることを勧めています。また早期の大腸がんからは出血がないことなどもあり、便潜血が陰性の人でも大腸がんの可能性は否定できません。そこで定期的に大腸内視鏡検査を受けることをお勧めします。

大腸内視鏡検査とは？

精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。1~2リットルの下剤で大腸を空にしたあとに、内視鏡を肛門から挿入し、直腸から盲腸までの大腸の全部位を観察し、がんやポリープなどの病変の有無を確認する検査です。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。大腸の奥まで観察することが困難な場合は、ほかの検査方法が用いられることがあります。

(出典：国立がん研究センター)



お薬や介護、食事(栄養)についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、お気軽にお尋ねください。

担当 みやこ薬局 桂店

みやこ薬局

<https://www.miyako-ph.co.jp>

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店・大宮店・桂店